

水戸市の防災対策について

備蓄対策

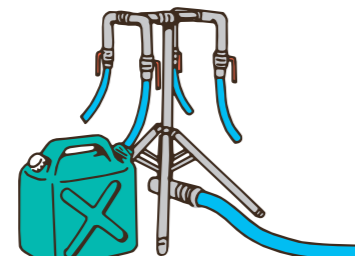
全ての指定避難所に、次のような物資を配備しました。

- クラッカー ●水 ●紙コップ ●簡易トイレ ●トイレ処理剤
- トイレ用ペーパー ●毛布 ●ランタン ●ラジオ
- アルミシート(毛布の2,3枚分の保温効果) ●避難所用マット ●簡易間仕切り(プライバシー確保)
- カセットボンベ式発電機 ●カセットボンベ ●トイレ用テント ●トイレ用手すり(車椅子対応)
- 災害用台車(積載荷重300kg) ●救助工具セット ●三脚付投光器 ●マスク ●消毒液 ●防護服
- フェイスシールド ●医療用ガウン ●ごみ袋 ●ゴム手袋 ●非接触型体温計



給水対策

全ての指定避難所に、ペットボトルの飲料水を備蓄するとともに、災害時には給水車により、各市民センターに備えた組立式の水槽を活用し飲料水を配布します。
※あわせて市立小・中学校等には、受水槽から直接採水できる応急給水栓を備えています。

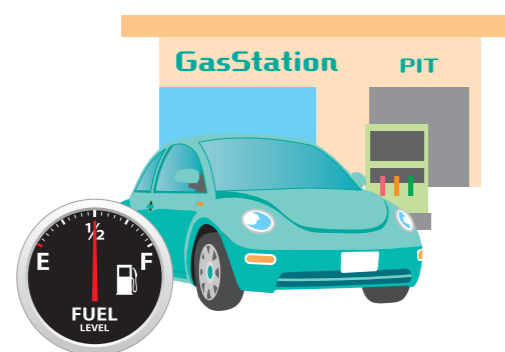


生活用水は、災害時に生活用水として井戸水の提供が受けられる井戸を、災害用井戸として登録しています。
登録した井戸の付近には、看板を設置しています。日頃から近隣の井戸の場所を確認しておきましょう。
※井戸の場所は、市ホームページや、各市民センターに掲示の井戸マップで確認することができます。



燃料対策

震災時には、ガソリンスタンドに多くの方が殺到した状況がありましたので、日頃から半分になったら給油するよう心がけ、災害に備えましょう。
市では、県や茨城県石油業協同組合との連携により、災害時に燃料を必要とする施設や、消防車、救急車、給水車などの燃料確保に努めます。



避難行動要支援者対策

本市では、災害時に自力での避難が困難な方の安否確認や避難誘導を行うため、地域ぐるみで支援する体制を構築し、災害時に安否確認や避難行動支援を行っております。
詳細は、防災・危機管理課までお問い合わせください。



●問合せ先

水戸市役所 防災・危機管理課

〒310-8610 水戸市中央1-4-1

電話 029-224-1111(代表)・029-232-9152(直通)

ホームページ <http://www.city.mito.lg.jp>



災害情報はどうすれば入手できるの？

災害時には、いち早く正確な情報を得ることが被害軽減、混乱抑制につながります。市では、テレビ、ラジオ、市ホームページ、広報車などに加え、次のような手段により情報を発信していますので、日頃から確認し、ご利用ください。

また、災害時にひとつでも情報を入手した方は、隣近所の方などに声をかけ、情報が漏れなく伝わるよう、ご協力ください。

水戸市からの情報発信

●緊急速報メール

登録不要で、市内にいる方の携帯電話に、避難を呼びかけるような緊急情報を配信するものです。

●防災行政無線

那珂川沿いなど浸水のおそれがある地域67か所に防災行政無線(屋外拡声装置)を設置しています。避難に関する情報を分かりやすい言葉で伝えるとともに、緊急性が高く切迫した状況のときには、サイレンを鳴らします。
放送内容は電話でも確認できます。
☎029-297-6287



●水戸市メールマガジン(防災メール)

市で配信しているメールマガジンは、事前登録が必要です。災害時には、きめ細やかな情報を発信します。手続き画面で、利用を希望する内容のチェックボックス内の「災害情報」にチェックしご利用ください。



●防災アプリ(Yahoo!防災速報)

アプリをダウンロードの上、通知対象地域に「水戸市」を登録いただくか、所在地連動通知の利用をオンにすることで、市が配信する緊急情報をプッシュ通知にて、受信できるようになります。



●SNS(LINE・Twitter・Facebook)

災害時は水戸市公式SNSでも災害情報を随時配信します。災害情報以外にも、さまざまな市政情報を配信しています。



指定避難所(市民センター、小・中学校)などに災害時でもつながる無線機を配備

避難所等に配備している無線機は、双方向の送受信が可能であり、本庁舎と各地区との間で、電話がつかないようなときでも、確実に連絡を取り合うことができます。
避難者のもとより、広報車や町内会の連絡網などにより、各世帯へ情報をお伝えすることも想定しています。

災害時の家族間の連絡手段を確認しましょう

災害用伝言ダイヤル・伝言板の活用

災害時に電話や携帯電話がつながりにくいときは、「災害用伝言ダイヤル171」や「災害用伝言サービス」を利用しましょう。

●災害用伝言ダイヤル ※●1件につき30秒まで録音 ●10件まで録音可能 ●利用期限は2日間

171 → 伝言を録音する → 1 → (〇〇〇)□□□-□□□□ → 伝言を吹き込む
被災地の人は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の人の電話番号を市外局番から入力
171 → 伝言を再生する → 2 → (〇〇〇)□□□-□□□□ → 伝言を聞く

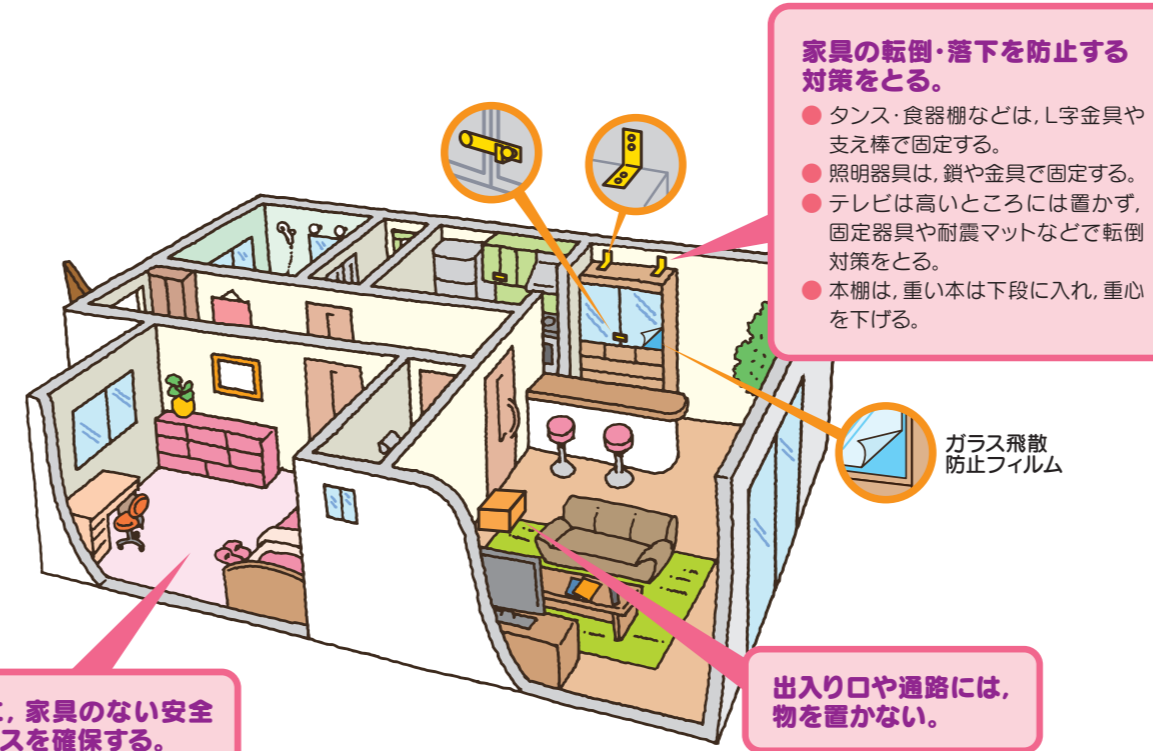
特設公衆電話の活用

市内全ての市民センターに、災害時にもつながりやすい特設公衆電話を備えてありますので、ご利用ください。なお、無料ですが発信のみとなります。

家の内・外の安全を確認しましょう

家の地震対策は、身近な問題です。まず第一に家具の転倒や落下を防ぐこと、そして逃げ場になる安全な空間をつくっておきましょう。

屋内編



家具の転倒・落下を防止する対策をとる。

- タンス・食器棚などは、L字金具や支え棒で固定する。
- 照明器具は、鎖や金具で固定する。
- テレビは高いところには置かず、固定器具や耐震マットなどで転倒対策をとる。
- 本棚は、重い本は下段に入れ、重心を下げる。

ガラス飛散防止フィルム

出入口や通路には、物を置かない。

家の中に、家具のない安全なスペースを確保する。

屋外編

ベランダにあるものの落下を防ぐ対策をとる。

- 植木鉢や物干しざおなど、落下の危険性があるものは、固定するなど対策をとる。
- ベランダから避難することも想定し、避難に支障がないよう、常に整理しておく。

窓ガラスなどには、飛散防止フィルムを貼る。

※屋内の食器棚などのガラスにも飛散防止フィルムを貼っておく。

屋根瓦などの状態を確認する。

- 瓦のひび割れ、ずれ、はがれている場合は、補修や補強をする。
- アンテナをしっかり固定する。

プロパンガスのボンベを鎖でしっかり固定する。

自宅の耐震性能を確認する。

壁や柱に、腐食したりシロアリの被害がある場合は、補修する。

ブロック塀の状態を確認する。

- 土の中にしっかりとした基礎のないもの、高さ1.2mを超える塀で控え壁(塀を補強する壁)のないもの、鉄筋が入っていないものは、補強する。
- ひび割れや傾き、鉄筋にさびがある場合は修理する。

みんなで作る防災のまち水戸

保存版

一次なる震災に備えて



FMばるん(78.2MHz)を調音すると水戸市からの情報が入手できます。

水戸市では、東日本大震災の教訓をもとに、備蓄、情報伝達体制、地域の防災活動への支援などを強化しています。

災害は、いつ、どこで、発生するかわかりません。大きな災害になればなるほど「自助」「近助」「共助」「公助」の連携が不可欠です。家庭での備蓄や家具の転倒防止対策、隣近所での声かけなど、日頃から災害に備えることで、災害に強い水戸市をつくりましょう。



水戸市